

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	神崎優
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、業界の仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
2	4月29日	講義・演習	教室の使用方法・ITリテラシー・仲間作りのアクティビティ	ワークシート
3	5月6日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
4	5月13日	講義・演習	オーディションシートの作成	ワークシート
5	5月20日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
6	6月3日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	6月10日	講義・演習	職業紹介・アクティビティ	ワークシート
8	6月17日	講義・演習	セッティング図を学ぶ・アクティビティ	ワークシート
9	6月24日	講義・演習	メールマナーを学ぶ・アクティビティ	ワークシート
10	7月1日	講義・演習	ビジネス講座・アクティビティ	ワークシート
11	7月8日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	7月15日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
13	8月26日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月23日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	神崎優
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、 勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、業界の仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動を できるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	後期の過ごし方について・アクティビティ	ワークシート
2	10月14日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
3	10月21日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
4	10月28日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
5	11月11日	講義・演習	オーディション対策	ワークシート
6	11月18日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	11月25日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・アクティビティ	ワークシート
8	12月2日	講義・演習	セッティング図を学ぶ・アクティビティ	ワークシート
9	12月9日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
10	12月16日	講義・演習	冬休みの過ごし方・2年生への準備について・アクティビティ	ワークシート
11	1月6日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	1月13日	講義・演習	SNSについて学ぶ・アクティビティ	ワークシート
13	1月20日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
14	1月27日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、 勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、業界の仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をで きるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	教室の使用方法・ITリテラシー	ワークシート
2	4月30日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
3	5月7日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
4	5月14日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションに向けて	ワークシート
5	5月21日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションに向けて	ワークシート
6	5月28日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
7	6月4日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
8	6月18日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
9	6月25日	講義・演習	ビジネス講座	ワークシート
10	7月2日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
11	7月9日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
12	7月16日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
13	8月27日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月24日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	神崎優
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、 勤労観、職業観などを身につけます。						
到達目標	キャリア教育を通して、プレゼンテーション能力・チームワークでの作業を学び、人間力と共に3年制として学んだ技能も生 かしつつ、エンターテインメント業界の視野を広げて業界の即戦力となるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	後期の過ごし方について・アクティビティ	ワークシート
2	10月15日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
3	10月22日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
4	10月29日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
5	11月12日	講義・演習	ライフプランニングについて学ぶ	ワークシート
6	11月19日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	11月26日	講義・演習	プレゼンテーション	ワークシート
8	12月3日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
9	12月10日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
10	12月17日	講義・演習	冬休みの過ごし方・卒業への準備について	ワークシート
11	1月7日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・アクティビティ	ワークシート
12	1月14日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
13	1月21日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
14	1月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(5)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員 白石健二 堀夏美 関根敬右
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、業界の仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	教室の使用方法・ITリテラシー	ワークシート
2	4月30日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
3	5月7日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
4	5月14日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションに向けて	ワークシート
5	5月21日	講義・演習	卒業アルバムの提出物確認	ワークシート
6	5月28日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
7	6月4日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
8	6月18日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
9	6月25日	講義・演習	就職対策講座	ワークシート
10	7月2日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
11	7月9日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
12	7月16日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
13	8月27日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月24日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(6)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 白石健二 堀夏美 関根敬右
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、 勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、業界の仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動を できるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	後期の過ごし方について・アクティビティ	ワークシート
2	10月15日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
3	10月22日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
4	10月29日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
5	11月12日	講義・演習	ライフプランニングについて学ぶ	ワークシート
6	11月19日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	11月26日	講義・演習	プレゼンテーション	ワークシート
8	12月3日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
9	12月10日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
10	12月17日	講義・演習	冬休みの過ごし方・卒業への準備について	ワークシート
11	1月7日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・アクティビティ	ワークシート
12	1月14日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
13	1月21日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
14	1月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月18日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	Music Theory (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鈴木未夏 田村野安
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	確認テスト	復習、テスト対策を行いテストに備える
2	4月30日	講義・演習	奏法	省略記号、奏法記号、装飾記号を復習する
3	5月7日	講義・演習	近親調	それぞれの調の関係性を理解し復習する
4	5月14日	講義・演習	移調	五線を用いて移調が出来るようになる
5	5月21日	講義・演習	トライアド	コードの概念とトライアドの構造を理解し復習し実際に弾いてみる
6	5月28日	講義・演習	7thコード	トライアドの知識を踏まえ、7thコードに発展させることが出来るようにし、実際に弾いてみる
7	6月4日	講義・演習	7thコードの復習とdim7	トライアド、7thコード、dimコードの構造を復習し実際に弾いてみる
8	6月18日	講義・演習	転回形	転回形の表記方法を復習し、G-clefでの簡単なヴォイスンクが出来るようにする
9	6月25日	講義・演習	その他のコード	add9、sus4、6thコードを復習し実際に弾いてみる
10	7月2日	講義・演習	テンション	9th、11th、13thのテンションコードを復習し実際に弾いてみる
11	7月9日	講義・演習	まとめ	今まで習ったコードの内容を復習し、理解度高める
12	7月16日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	8月27日	講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	9月10日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15	9月24日	講義・演習	テスト返却、総復習	楽譜を見て、keyや雰囲気などをつかみ、表現できるようにする
準備学習 時間外学習		前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える		
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	Music Theory (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鈴木未夏 田村野安
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	代理コード(裏コードを含むダイアトニック外の代理コード)	メジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードとダイアトニック外の代理コードを使ってアレンジしてみる
2	10月15日	講義・演習	借用和音	マイナーキーからの借用和音を入れたコード進行を作ってみる
3	10月22日	講義・演習	転調	転調のパターンを知り、実践する
4	10月29日	講義・演習	アナライズ	楽譜と音源から楽曲分析をしてみる
5	11月12日	講義・演習	ヴォイスिंग	ケーデンスを実際に5線に書けるようにする(保留をしながら)
6	11月19日	講義・演習	アベイラブルノートスケール(メジャー)	コードスケールを使ってフレーズを作ってみる
7	11月26日	講義・演習	アベイラブルノートスケール(マイナー)	コードスケールを使ってフレーズを作ってみる
8	12月3日	講義・演習	ドミナントスケール	V7に適したスケールを使ってフレーズを作ってみる
9	12月10日	講義・演習	コードに適したスケール	それぞれのコードに適したスケールを使ってフレーズを作ってみる
10	12月17日	講義・演習	その他のスケール	前回までに学んだスケール以外のスケールを使ってアレンジしてみる
11	1月7日	講義・演習	まとめ	復習をし、理解度を高める
12	1月14日	講義・演習	スコアリーディング	今までの内容を復習し理解度を高める 期末テストに備える
13	1月21日	講義・演習	期末予備テスト	復習、テスト対策をし期末テストに備える
14	1月28日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策をし期末テストに備える
15	2月18日	講義・演習	テスト返却と総復習	実際に楽譜を読み、自分なりに分析し、表現に繋げる応用力を身に付ける。
準備学習 時間外学習		前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える		
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	Ear Training(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鈴木未夏 田村野安
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。					
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	10月6日	講義・演習	既習リズムを使ったリズム打ち・書き取り、6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り(C,Gを使って)、2声メロディー、音程ドリル	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする	
2	10月13日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って)、メロディー書き取り(Cminor、2声ハーモニー)、3度音程のハーモニー練習、音程ドリル	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する	
3	10月20日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って)、メロディー書き取り(Cminor)、3度音程の2声ハーモニー書き取り、音程ドリル コードⅠ、Ⅳ、Ⅴの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する	
4	10月27日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー) P4P5.トライトーンのハーモニー練習 コードⅠ、Ⅳ、Ⅴの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する	
5	11月17日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って) メロディー書き取り(16分音符導入、Aminor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅠ、Ⅳ、Ⅴの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
6	11月24日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅠ、Ⅳ、Ⅴの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
7	12月1日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える	
8	12月8日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,G,Fを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅠ、Ⅳ、Ⅴの聴き取り、Ⅳ(Ⅱm)Ⅰの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
9	12月15日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(Aminor、2声メロディー) 6度音程のハーモニー練習 コードⅣ(Ⅱm)Ⅰの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
10	12月22日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅣ(Ⅱm)Ⅰの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
11	1月12日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー) オクターブとユニゾンのハーモニー練習 コードⅣ(Ⅱm)Ⅰの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
12	1月19日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅣ(Ⅱm)Ⅰの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
13	1月26日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディー書き取り(FMajor、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅣ(Ⅱm)Ⅰの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
14	2月16日	講義・演習	復習	総復習を行い中間テストに備える	
15	2月23日	講義・演習	中間テスト	総復習を行い中間テストに備える	
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える		
【使用教科書・教材・参考書】					
ゼロから始める音楽理論 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部					

科目名	Ear Training(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鈴木未夏 田村野安
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。					
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)		
1	10月8日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.F.を使って) メロディー書き取り(G.Major、2声メロディーは三連符導入、2声ハーモニーは2度音程導入)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
2	10月15日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.F.を使って) メロディー書き取り(G.Major、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅣ(Ⅱm)-Ⅴ-Ⅰの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
3	10月22日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.F.を使って) メロディー書き取り(G.Major、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅣ(Ⅱm)-Ⅴ-Ⅰの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
4	10月29日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.F.を使って) メロディー書き取り(G.Major、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅦmを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
5	11月12日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.F.を使って) メロディー書き取り(G.Major、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅦmを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
6	11月19日	講義・演習	曲を題材にしたリズム打ち、リズム書き取り、メロディー書き取り メロディー書き取り(6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅦmを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
7	11月26日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える		
8	12月3日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.F.を使って) メロディー書き取り(Key:C.G.F.Am.Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅠⅡmⅣⅤⅦmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
9	12月10日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.F.を使って) メロディー書き取り(Key:C.G.F.Am.Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅠⅡmⅣⅤⅦmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
10	12月17日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.F.を使って) メロディー書き取り(Key:C.G.F.Am.Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅠⅡmⅣⅤⅦmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
11	1月7日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.F.を使って)、メロディー書き取り(Key:C.G.F.Am.Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅠⅡmⅣⅤⅦmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
12	1月14日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C.G.F.を使って)、メロディー書き取り(Key:C.G.F.Am.Cm、6/8拍子、2声メロディー、2声ハーモニー) コードⅠⅡmⅣⅤⅦmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
13	1月21日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
14	1月28日	講義・演習	期末テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する		
15	2月18日	講義・演習	テスト返却、総復習	聴こえる音やリズムを正しく楽譜に書き、コードの響きや種類を聴き分けられる		
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える			
【使用教科書・教材・参考書】						
ゼロから始める音楽理論「喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部						

科目名	イベント制作(5) Project Work	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松尾有里 子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月24日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	5月8日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月15日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月22日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	5月29日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成することができる	ワークシート
6	6月5日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月19日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月26日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	7月3日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月10日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月17日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	8月21日	講義・演習	イベントにおける振り返りを行うことで問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月28日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月11日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月18日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(6) Project Work	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 松尾有里 子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。					
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	ワークシート
2	10月16日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	ワークシート
3	10月23日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	ワークシート
4	10月30日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	ワークシート
5	11月13日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	ワークシート
6	11月20日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	ワークシート
7	11月27日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	ワークシート
8	12月4日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	ワークシート
9	12月11日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決することができる	ワークシート
10	12月18日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	ワークシート
11	1月8日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	ワークシート
12	1月15日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	ワークシート
13	1月22日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(5) Management Work	必修 選択	選択	年次	3	担当教員 松尾有里 子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。					
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月24日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	5月8日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月15日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月22日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	5月29日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成することができる	ワークシート
6	6月5日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月19日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	6月26日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	7月3日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月10日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月17日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	8月21日	講義・演習	イベントにおける振り返りをする事で問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月28日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月11日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月18日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(6) Management Work	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	松尾有里 子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	ワークシート
2	10月16日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	ワークシート
3	10月23日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	ワークシート
4	10月30日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	ワークシート
5	11月13日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	ワークシート
6	11月20日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	ワークシート
7	11月27日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	ワークシート
8	12月4日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	ワークシート
9	12月11日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決することができる	ワークシート
10	12月18日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	ワークシート
11	1月8日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	ワークシート
12	1月15日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	ワークシート
13	1月22日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	ワークシート
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	著作権(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコ	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	4月30日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	5月7日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	5月14日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	5月21日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	5月28日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	6月4日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	6月18日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	6月25日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	7月2日	講義・演習	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	7月9日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	7月16日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月27日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月10日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月24日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習		教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	オリエンテーション／音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック／配布授業資料復習
2	10月15日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習／配布授業資料復習
3	10月22日	講義・演習	著作権の必須知識／使える著作権	教科書予習／配布授業資料復習
4	10月29日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習／配布授業資料復習
5	11月12日	講義・演習	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習／配布授業資料復習
6	11月19日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など(1)	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
7	11月26日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など(2)	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
8	12月3日	講義・演習	国際的な音楽活動／世界の音楽ビジネス事情	教科書予習／配布授業資料復習
9	12月10日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
10	12月17日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
11	1月7日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習／配布授業資料復習
12	1月14日	講義・演習	変わりゆく著作権／時代と著作権との関係と問題点	教科書予習／授業内課題提出／配布授業資料復習
13	1月21日	講義・演習	現在の音楽産業／これから10年後のビジネスモデル	教科書予習／配布授業資料復習
14	1月28日	講義・演習	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習／配布授業資料復習
15	2月18日	講義・演習	まとめ／復習／期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	音楽史(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ジャズの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のジャズがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1) 各時代のスタイルの違いを説明できること。 2) 音楽との関係性を知ること。 3) 有名な曲の歴史的意義を知ること。 4) 各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	ジャズ史概観 この授業で何を学ぶのか	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	4月27日	講義・演習	ルイ・アームストロング ジャズの誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	5月11日	講義・演習	デューク・エリントン ビッグ・バンドの時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	5月18日	講義・演習	グレン・ミラー ビッグ・バンドの広がり	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	6月1日	講義・演習	チャーリー・パーカー ビバップの始まりと進化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	6月8日	講義・演習	「クールの誕生」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	6月15日	講義・演習	マイルズ・デイヴィスと「モード」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	6月22日	講義・演習	オーネット・コールマンとフリージャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	6月29日	講義・演習	ジョン・コルトレーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	7月6日	講義・演習	マイルズ・デイヴィス「ピッチズ・ブルー」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	7月13日	講義・演習	ハービー・ハンコックとフュージョン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	7月20日	講義・演習	コンテンポラリー・ジャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	8月24日	講義・演習	ジャズ・ヴォーカリスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	8月31日	講義・演習	日本のジャズのあゆみ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	9月21日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
適宜、講師が用意。				

科目名	音楽史(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ロックの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1) 各時代のスタイルの違いを説明できること。 2) 音楽との関係性を知ること。 3) 有名な曲の歴史的意義を知ること。 4) 各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	ロック史の概観と2000年以降のロックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	10月12日	講義・演習	ロックの誕生～若者向けの商業音楽の成立	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	10月19日	講義・演習	エルヴィス・プレスリーの登場による社会の変化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	10月26日	講義・演習	ザ・ビートルズが起こした革命	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	11月16日	講義・演習	ボブ・ディランとフォークソング、フォークロック	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	11月23日	講義・演習	ソウル・ミュージックを学ぶ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	11月30日	講義・演習	「サージェント・ペパーズ」が切り開いた世界を知る	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	12月7日	講義・演習	70年代へ続く道	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	12月14日	講義・演習	70年代、ロックの大衆化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	12月21日	講義・演習	パンクの登場	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	1月11日	講義・演習	MTVによる時代の変化とHIPHOPが生み出した新しいグ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	1月18日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	1月25日	講義・演習	90年代、グランジの時代／まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	2月15日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	2月22日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
適宜、講師が用意。				

科目名	就職対策講座(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	自分の仕事のタイプについて知ることができる	プレゼン資料の準備(レポート)
2	4月26日	講義・演習	キャリアをデザインしよう/ステイブジョブスの偶然をキャリアに	プレゼン資料の準備(レポート)
3	5月10日	講義・演習	学生生活キャリアイメージを理解する	プレゼン資料の準備(レポート)
4	5月17日	講義・演習	自分らしさ/自信をみにつける事ができる	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
5	5月31日	講義・演習	コミュニケーションの難しさを理解する	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
6	6月7日	講義・演習	コミュニケーション例/説明力を学ぶ	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
7	6月14日	講義・演習	面接など基本を理解する	レポート
8	6月21日	講義・演習	身だしなみについて知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	6月28日	講義・演習	働きがいとは/次回の課題を考える事ができる	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	7月5日	講義・演習	インタビュー課題を理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	7月12日	講義・演習	PDCAサークル/仕事の心身を理解する	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	7月19日	講義・演習	仕事の収入の成り立ち/収入について理解する	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	8月23日	講義・演習	内定が出てから行うこと理解する	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	就職対策講座(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	自己分析 自らの得意、強みを知る	プレゼン資料の準備(レポート)
2	4月26日	講義・演習	自分の発信と相手側の受けロリ方について	プレゼン資料の準備(レポート)
3	5月10日	講義・演習	グループワークの進め方	プレゼン資料の準備(レポート)
4	5月17日	講義・演習	臨機応変の対応力について	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
5	5月31日	講義・演習	社会人失敗例について知る	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
6	6月7日	講義・演習	10年後の自分について目標を持つ	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
7	6月14日	講義・演習	今行うべきことの理解と、学びについて	レポート
8	6月21日	講義・演習	対人関係について・自己表現方法について	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	6月28日	講義・演習	社会が求めるコミュニケーション能力を知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	7月5日	講義・演習	自分のキャリアデザインを書く	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	7月12日	講義・演習	自分のキャリアデザインを企画書にする	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	7月19日	講義・演習	自分のキャリアデザインをプレゼンテーションをする	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	8月23日	講義・演習	他者のキャリアデザインにアドバイスを行う	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				